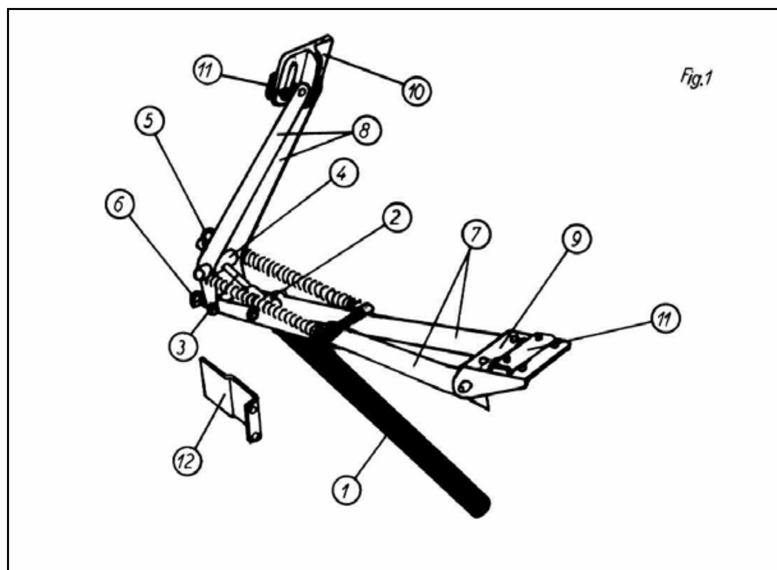
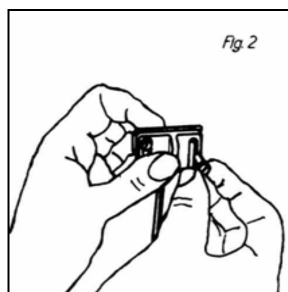
窓用自動開閉器具

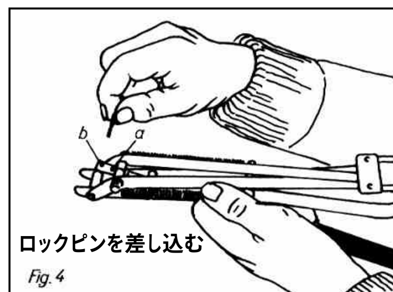
UNIVENT

ユニベント

取扱説明書







ユニベントの特性

1. 開閉温度範囲： 温室内の温度で
   15℃～30℃ 標準タイプ
   19℃～27℃ 高温タイプ
2. 窓の開き幅： 最大約45cm（押上げ窓）
3. 押上げ重量： 最大7kg （窓重量14kg）

＜注意＞
取付け方や窓の重さ、温室の状況等により多少の差が生じます。

使用上の注意

1. シリンダーは50℃以上の高温での使用又は保管は避けて下さい。シリンダーが破損する可能性があります。
2. ユニベントを作動中は窓（ドア）は必ず開閉自由な状態にして下さい。台風等の理由で窓（ドア）をロックする場合は、必ずユニベントのアームを壁枠側ブラケットから外して下さい。温度の上昇によりシリンダー、フレーム、温室等に損傷を与える恐れがあります。
3. 取付け前に必ず取付け説明をお読み下さい。温室によっては取付けの不可能な場合や、窓フレーム等に改造を必要とする場合があります。
4. シリンダーの駆動部（シリンダーシャフト）を半年一回程度ミシン油で拭いて埃の付着をさけて下さい。
5. 使用しない期間はフレームからシリンダーを取外し、埃などを拭き取って涼しい意場所で保管して下さい。

保証期間

保証期間はお買い上げ後一年です。
フレームの改造等による不具合は保証の対象外となります。

構成部品（Fig.1）

① シリンダー
② サスペンションホルダー（ねじ付リング）
③ シリンダーシャフト（シリンダーの駆動部）
④ T型ジョイント
⑤ ロックピン（細/付属部品）
⑥ ストップピン（太/付属部品）
⑦ アームB
⑧ アームA
⑨ かべ枠側ブラケット
⑩ 窓枠側ブラケット
⑪ 取付け金具（付属部品）
⑫ 予備取付けアングル
（付属部品/壁枠側ブラケット用）

取付け説明

始めに温室の窓（ドア）が自由に開閉できる状態かどうかを確認して下さい。窓にその他の開閉用器具等が付いている場合はそれらを取外して下さい。また、温室のフレームが金属製の場合ドリルでねじ穴を開ける必要があります。

1. 付属の取付け金具⑪と窓枠側ブラケット⑩で窓側にアームA ⑧をネジで軽く取付けます。（Fig. 2 参照）
2. 壁枠側ブラケットの上端が窓フレームに合うように壁枠側ブラケットの位置を決め（Fig. 3 参照）、適したネジ穴に取付け金具で軽く取り付けます。天窓が屋根の端に接している場合（Fig. 8 参照）、及び引き戸の場合は壁枠側ブラケットを90°回転して取り付けます。（Fig. 8 参照）
   フレームの構造によって壁枠側ブラケットが取り付けられない場合、予備の取付けアングル⑫を使用して下さい。（Fig. 8 参照）

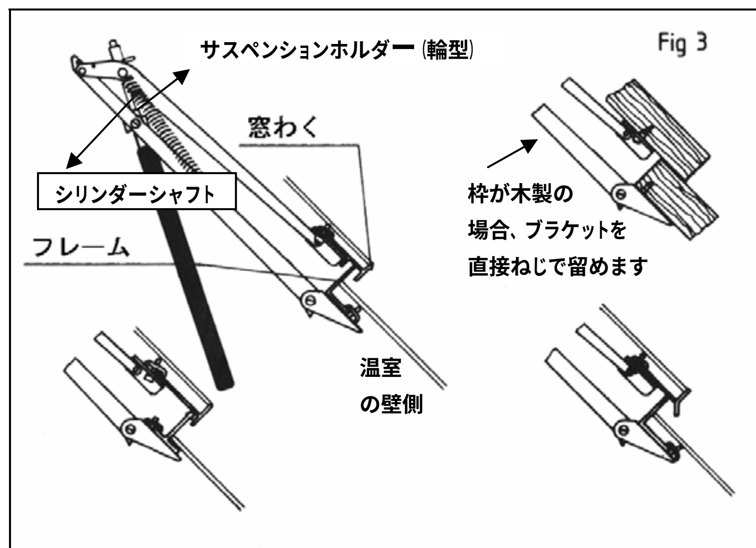


Fig 3

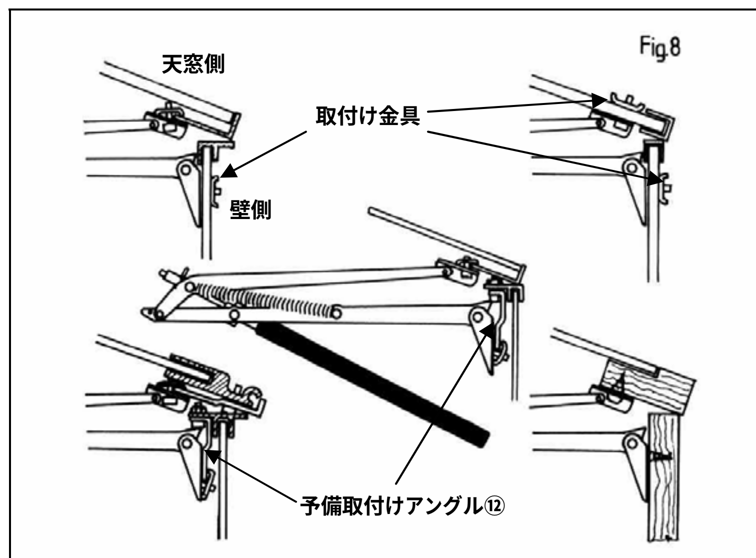


Fig.8

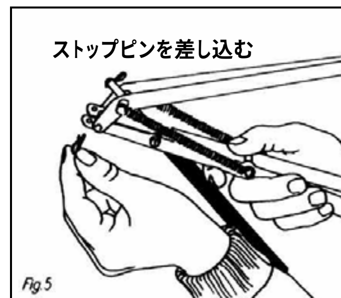
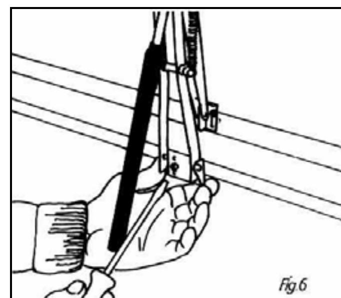


Fig.5


Fig.6

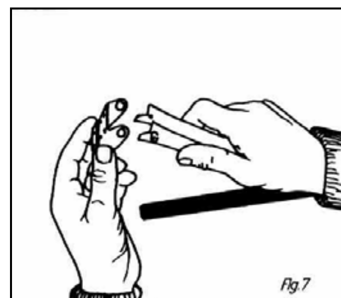

Fig.7



Fig.9

3. シリンダーシャフト③をアーム⑦の間のサスペンションホルダーを通して T 型ジョイントの穴に差込みロックピン (細) の片方を穴に挿して留めます。(Fig. 4 参照) このとき、

(ア) 窓の最大開き幅が 42cm 以上の場合、手前の穴位置 a で留めます。

(イ) 窓の最大開き幅が 30cm〜42cm の場合、奥の穴位置 b で留めます。

ストップピン (太) をアーム⑦に差し込みます。(Fig. 5 参照)

＜注意＞ ストップピンは (イ) のケースにのみ使用します。

4. 壁枠側ブラケット⑨を温室の壁に取り付けます。
5. 窓 (ドア) を閉めた状態で、窓枠側ブラケット⑩を窓枠 (ドア枠) に取り付けます。この時、器具のアームによじれが入らないように注意して下さい。
6. 窓 (ドア) を開けて、シリンダーをサスペンションホルダーにねじ込みます。窓の場合、サスペンションホルダーがシリンダーのネジ部の中心になるようにシリンダーをねじ込みます。

＜注意＞温室の窓をロックする場合は、必ずユニベントのフレームを Fig. 9 のように壁枠側ブラケットから取外し、温度の上昇によってロックした窓を押し上げないよう注意して下さい。

シリンダーの取外し

シリンダーを取外す場合は、ロックピンを外した後、シリンダーをサスペンションホルダーから取外します。

＜注意＞このとき、ばねの反動でアームに手をはさむ危険があります。十分な注意のもとに取外して下さい。

開閉温度の調整

ユニベントはシリンダーのサスペンションホルダーへのねじ込み具合で多少の温度調整が可能です。

シリンダーを時計回りにまわすと、窓の開き始めの温度は下がり、時計と反対回りにまわすと、窓の開き始めの温度は上がります。

調節可能な温度はシリンダー2 回転で温度約 1℃です。

温室の中は場所によって多少の温度差が生じています。このため、温室内の温度表示と、ユニベントの作動温度に多少の差が生じることがあります。このため、取付け箇所の温度と温室内の温度の差を十分把握して温度調節を行って下さい。